

卓話講師：(株)若松 取締役 東京港醸造(株) 代表取締役 寺澤善実様

卓話演題：「東京港醸造 創業文化 9 年若松屋」

米山奨学生 馮天嬌さん 「私の過去・現在・未来」

4 月 9 日



私は国学院大学大学院の博士課程にて神道宗教学を専攻しています。専門分野は「東アジアにおける水と関わる龍信仰の研究」です。龍は日本でも雨や水に深く関わるイメージがあると思いますが、私の研究はまさにそのような人々の暮らしや文化に関するものです。趣味として博物館、飲食店めぐり、シュノーケリングを楽しんでいます。

中国の新疆ウイグル自治区の南に位置するホータンの出身です。新疆はシルクロードの町でして、中国の西北部に位置し 3 つの山脈が 2 つの大きな盆地を挟むという特徴的な地理構造にあります。南部はインド北部はロシアとそれぞれ異なる文化圏と接



私の故郷

ホータン



し、両方とも中央アジア文化の影響も色濃く受けています。私は小学校までをホータンで中学は北部のカラマイで過ごしました。クラスにはイスラム教を信仰する友人も沢山いましたが、お互いの習慣や宗教を受入れながら過ごす毎日には今思えば異文化交流を感じる良い機会であったと思います。ホータン北側には世界 2 位の広さを誇る広大なタクラマカン砂漠が広がっており、自然豊かなオアシス都市であるホータンは奇跡の町とも言われています。一方街の南側には仙人の住む山と言われる金剛山がそびえたっています。子供の頃からこの山の神秘を感じて育ちました。ホータンは古代シルクロードにおいて非常に重要な街の一つで、数千年にわたり文化と宗教が交差する街でした。シルクロードは貿易で知られていますが、それ以上に重量であったのは文化宗教の交流の道としての役割でした。ホータン周辺には中国、魏晋南北朝時代の重要な仏教遺跡が沢山あります。代表的なものはダマゴウ遺跡です。ダマゴウ遺跡は最も小規模な仏寺遺跡として学会でも注目を浴びています。私が 2021 年にこの遺跡を訪ねた際に博物館長に詳しく説明していただく機会がありました。館長は壁画 1 枚 1 枚に込められた歴史や物語、自らの研究に基づく仮説、未解決の謎についても熱心に語ってくださいました。私自身同じ研究者としてふるさとの文化遺産に対する深い愛情と使命感を感じましたし、同時に遺跡の保護体制の難しさも知りました。館長の「フェンさんこれから研究者として歩むあなたがいつの日がこれらの謎を明らかにしてくれることを願っています」という言葉は、私に今この道を歩ませていることの一つでもありますし、サンスクリット語を身近に感じ学び続けたいという大きな動機にもつながっています。

私は大学時代には様々なボランティア活動に参加してきました。老人ホーム、特別支援学校、教会、動物園でのボランティアなど幅広い活動を経験しました。これらの経験を通じて他人への共感力の大切さを強く感じました。同時に相手の視点から世界を感じることがなにより大切だと感じました。大学三年生の時には埼玉大学へ交換留学し世界各地からの留学生と一緒に文化や国際理解を深く幅広く学ぶ機会がありました。クラスにはロシア出身の学生、ウクライナ出身の学生もいましたが、二人が積極的に交流する姿は一度も見かけませんでした。ある授業内で自国のプレゼンテーションを行う機会でしたが、ロシアの学生が自国を誇らしげに紹介した後で、ウクライナの学生が複雑な表情を浮かべつつも穏やかな口調で自国の文化を丁寧に紹介しました。その時初めて彼らの間にある微妙で複雑な感情に気が付きました。当時の私は社会情勢国際政治の複雑さを深く理解しているわけではありませんでしたが、この出来事により、国際交流の難しさ、繊細なものであることを強く感じました。表面的なものにとどまらず背景にある歴史や人々の感情に踏み込んだ深い理解が必要だと考えるようになりました。

最近、私は日常生活の中で自分の研究テーマに関係ある文化交流を探して楽しんでいます。その一環としてインド、ネパール料理の店へ通っています。ある日、インド料理店でビリヤニを食べた瞬間、私の故郷の伝統料理「ポロ」が思い浮かびました。ポロは玉ねぎ、クミンなどのシンプルな香辛料で作ります。ビリヤニにはさらに多くの香辛料が使われますが、それでもどこか根底に流れる味わいや調理法が共通していました。マサラティーを飲んだ時も私の伝統的なお茶とそっくりで驚きました。そのほかネパール料理でも同じような経験がありました。これらの料理を通じてシルクロードを介した文化交流を改めて感じる事ができました。スパイスや調理法は 4000 年の歴史の中で地域ごとに変化していたのだと思います。自分自身の研究対象であるストーリーや読み物もこういった歴史交流を背景として広がったものだと感じました。

私の研究対象もまたシルクロードを通じて中央アジアやインドから東アジア、そして日本へもつながり、各地で独自の変化をとげます。日本の寺社や祭りの中にも龍に関連する儀礼や信仰が多く見られますが、その背後には遠く離れた私の故郷に繋がっているのです。このような文化のつながりを私は単なる学術研究としてではなく、自分自身の生活や経験を通じて宗教や文化交流を研究しています。この時代もまた現在のシルクロードを辿った旅かもしれません。だからこそ、未来は研究者としての専門性をいかし、東アジアの芸術文化を東アジアの精神的な背景に関心を持つ人々に向けて紹介し、総合交流を促進していきたいと考えています。芸術作品の持つ力は高く、異文化を直感的に感じる為に比類ないものといっても過言ではありません。

現在、私は中国の SNS 公式アカウントを運営しており、日本の古美術を中心に中国の古美術を紹介することを取り組んでいます。文化や芸術を通じて人々の間に理解や共鳴が芽吹いていくような存在になりたいと考えています。小さいことですが、理解から始まる平和。そんな思いを胸に私はこれからも自分の道を歩んでいきたいです。



◆ニコニコ（年間目標 800,000 円）◆

4月9日（水）例会 35,000 円

桜祭欠席して申し訳ありません 秋山会員
桜祭盛大でした 宮尾会員
桜祭無事終了しました。ご協力ありがとうございました。 山田会員
先日両親を連れ地元の公園で花見をしました。
雨の中お弁当を食べて帰りましたが今日は晴天で「今日公園に花見に行きたい」と連絡が入り心苦しいです。 家里会員
宮尾さんツムラ 68 番ありがとうございます。フェンさん卓話お願いします 小熊会員
フェンさん卓話楽しみです 白井会員
フェンさんガンバレ！ 小室会員

【季節の挨拶】

坂田会員 渡辺会員 山元会員
町田会員 泰地会員 竹内会員
松本会員 上柳会員 山田会員
高野会員 相沢会員 山元会員

【早退のお詫び】 百束会員

【皆出席】 55 回目 勝山会員
5 回目 小熊会員

■ニコニコ集計■

2024-25 年度 累計金額 735,000 円
(年間目標 800,000 円)

◆例会出席報告◆

4月9日(水) 例会

出席者 18 名 ビジター・ゲスト 4 名
出席率 90.0% 前々回出席率 76.4%

◆例会予定◆

◆4月23日(水) 例会

書道家 秋葉生白様「書のある生活」

◆4月30日(水) 休会

◆5月7日(水) 休会

◆5月14日(水) 例会

荏原警察署 署長

◆5月28日(水) 例会

青少年交換生 マルゴーシファー

◆報告事項 お知らせ◆

2025 年 4 月 9 日例会 会長幹事報告

【会長報告】

■ ロータリー財団 ベネファクター表彰
・ 竹内保市会員



■ 米山功労者 表彰

・ 第 3 回米山功労者 白井利枝子会員



■ 皆出席表彰

・ 3 月 24 日 第 55 回目 勝山義晴会員

・ 3 月 24 日 第 5 回目 小熊靖彦会員



■米山記念奨学生奨学金授与

フェンテングジョウさん

■青少年交換 おこずかい授与

マルゴーシファーさん



【ビジター・ゲスト】

荒木淳一郎様、ソナムドマさん、馮天嬌さんマルゴーさん

★SAA 担当 家里会員 小熊会員 山元会員



品川女子学院 IAC 春のフィールドワーク報告

品川女子学院インターアクト部が石坂産業が運営する三富今昔村でフィールドワークを実施いたしました。12 名の部員が参加し、熱心にコーディネーターの説明を聞き SDGs の学びを深めていました。

10:30 【オリエンテーション】

日本と世界の環境問題の現状、石坂産業の取り組み

11:00 【くぬぎの森】不法投棄

の雑木林を復元した里山へ

12:30 【おいしい体験】

石坂オーガニックファーム産

野菜や卵を使用した特別弁当

14:00 【ワークショップ】

はちみつ石鹸づくり

15:00 【ふりかえり】



国際ロータリー第 2750 地区 東京品川中央ロータリークラブ 会長 小室たけし 幹事 白井利枝子

設立 1967 年 10 月 18 日 例会場 グランドプリンスホテル高輪「桜花」水曜日 12:30～13:30

事務局 〒108-0074 東京都港区高輪 3-13-1 グランドプリンスホテル新高輪 E-4

TEL 03-3443-6000 FAX 03-3443-6002 <http://www.shinagawachuo-rc.com/>

